



とよかわの海と 徳川家ゆかりコース

山と海も満喫まち歩き

歩き周遊ルート

名所と祭り

自転車周遊ルート

電車周遊ルート

車周遊ルート



2 御津山園地

●御津山園地

標高94m余りの御津山は、徳川家康公が大恩寺に寺領として全山を与えたところから大恩寺山とも呼ばれています。高さ13mの展望台からは三河湾の素晴らしい景色が一望できます。また、園内には約150本の桜が植えられ、毎年春には多くの花見客でにぎわいます。📍有り

周遊距離 約9km
周遊消費カロリー
523kcal
おにぎり1個あたり
160kcal



1 為当稲荷神社

社伝によると天徳年間(957~960)の創建とされ、豊川市では豊川稲荷、五社稲荷社に次ぐ稲荷の古刹です。親子三神が仲良く鎮座されており、家族円満の御神威もあります。また、毎年4月第1土、日曜日の臨時大祭「花の撓」で狐の面をついたり、狐化粧をした狐連や俵神輿を担いだ子ども狐行列が有名です。



7 産直ひろば御津

小さいお店ですが産直新鮮野菜たくさんあります。
🕒9:00~19:00
📅毎月・第2水曜日📍有り
その他臨時休業あり

3 大恩寺

●大恩寺

室町時代(1490年)に現在の御津山に移転しましたが、寺の移転にあたっては松平家の援助があり、以来松平家の庇護を受け、徳川家康の父である松平広忠によって建物の修復が行われました。また、松平親忠の五男や松平清康の三男がこの寺で僧となっており、松平家に大恩があるということから、寺名を大恩寺に改めたといわれています。大恩寺山門は大型の重層門として県内では数が少ないため希少価値が高く、県の有形文化財に指定されています。📍有り

4 御津神社

●御津神社

祭神は大国主命で、八代天皇の孝元天皇が諸国行脚の折、御船をこの津に寄せられたことから当地を御津奏とし、御津神社の名を賜ったとされています。また、摂社に磯宮、船津神社があるのは、御津が古代三河国の港の地であったことに由来するとされています。

5 法住寺

●法住寺

室町時代の永正5年に時の將軍足利義澄により開かれたとされています。また、国の重要文化財に指定されている木造千手観音立像は藤原末期の作で、明治時代の廃仏毀釈により仏像が海に捨てられようとしているのを見た船乗りがもったいなく思いう像を譲り受けてきたものとされています。毎月17日は観音様の命日で、拝観することができ、多くの参拝者でにぎわいます。📍有り

6 御津マリーナ

●御津マリーナ

海原に浮かぶ島々や三河湾を望む夕景、12月の冬の夜にヨットに施されたイルミネーションの輝きなど、景観が人気のスポットになっています。また、ヨットや海を眺めながら食事ができるレストランもあります。📍有り(有料)